

さびしさに宿をたらず
出で

なみればいづこも同じ

秋の夕暮れ

中一ニエ

寂しくて家を出てあたりを眺めてはみたが、
この秋の夕暮れの寂しさはどこも同じであるものだ。
(百人一首 七〇番 良暹法師)